

# ベスタロッチ受賞者紹介

和光学園学園長 丸木政臣

丸木政臣氏は、1924年、  
師範学校を卒業、  
年8月15日を鹿児島  
吹上浜で迎えた。  
従事したが、1年  
師範附属国民学校に  
する中でベスタロッチ  
1947年4月、新  
しい教育を实践現  
の教育に力をそそ  
めざす運動に参加  
の被害を中学生と  
「水害と市政」に  
的実践として注目  
1955年4月、乞  
転任する。この学  
成城学園から1933  
あり、「児童天賦の  
せるという精神を  
的に苦境にあった  
(後に「日本生活  
て再生し、戦後教  
た。丸木氏は、こ  
り、和光大学の創  
タロッチーの教育  
活教育」を教育改  
て、和光学園の歩  
は、学園の二つの  
等学校の校長とし  
指導的役割を果たし、現

熊本 1945  
熊本県に生まれ、1945  
陣で陸軍に入隊、近  
特攻隊基地知賢農業  
衝撃でしばらく熊本  
と母のすすめでを  
戦後の民主教育を  
の教育精神と出を  
教育基本法にも  
し、特に新生「編成  
キュラムの開発、  
には熊本を襲った  
調査学習した典  
「問題解決学習」、  
高く評価された学  
東京の私立和光立  
柳政太郎が創学  
独立した新教育を  
力」を遺憾なくは  
いでいた。戦後ム  
ア・カリキュラ校  
盟))」の実験学  
運動の拠点とな  
の中心的リダ、ベ  
力する。また「生  
歴史的源流とす念  
校改革の基本理年  
ってきた。1969校、  
小学校、中学表  
字通り学園を代  
は学園長の職に

委員長でもある。  
あわせて、日本生活教育連盟の思いは、「21世  
氏の教育理念、学校改革への熱い「青年」を平  
紀の学校』(星林社1998年)、『我が教育の原点  
たたび』(岩波書店1997年)、『多くの著書から  
(新日本出版社1996年)ほか、  
もうかがい知ることができる。また、近代の入り口  
ベスタロッチーが、18世紀末の教育の課題へ  
における人間的危機をもたらした氏は、20世紀  
の挑戦者であったとすれば、丸木氏は向かった  
末がうみだした人間世界の荒蕪。両者は、と  
教育者であると言えることができ、その現実を直  
にも困難な状況におかれた子弟と新教育の立場か  
し、「生活が陶冶する」という生る。さらに、へ  
ら教育改革に取り組んだのであろうに、丸木氏も  
スタロッチーがそうであったよし、学校(和光  
自らの教育理念を实践の場に移してきた。その  
学園)の教育と経営に粉骨砕身おも、常にそこ  
には、多くの困難に遭遇しなかるという理想を  
もを主人公とした学校を創造す、それはまさに  
めざし、求道する氏の姿があり、学園における  
シュタンツ孤児院やイヴェルドらものである。  
ベスタロッチーの姿と重なりあふ現在にいたる  
丸木政臣氏の活動は、戦後かかれた子どもたち  
まで、困難な教育状況下におか、を掲げて、真  
に向き合い、揺るぎない教育理である。ここに  
筆な実践を積み重ねてきたもの、教育の原点  
はまさにベスタロッチーの精神、13年がわたる  
が体現されている。丸木政臣氏は、日本の教育  
多大な功績に対し、第9回ベス  
賞を贈呈し、高く顕彰したい。

(受賞者の紹介にあたり、中野光氏「」をふかたが  
並びに岩波ブックレット『あの「青年」に記して感  
を多く引用させていただきました。  
申し上げます。)